

■前半 植物ホルモン・成長調節物質

- F201 雄性両性同株型キュウリにおけるMローカスとエチレンによる性表現の制御
山崎聖司, 藤井伸治, 松浦誠司¹, 高橋秀幸(東北大院・遺生研, ¹㈱トーホク)
- F202 光によるプラシノステロイド生合成遺伝子の発現制御
鷲田幸久, 郷田秀樹, 宮内成真, 永田典子, 浅見忠男, 藤岡昭三, 吉田茂男(理研・植物センター・生長制御, 理研・植物機能)
- F203 光はイネのプラシノステロイド生合成を促進する
横田孝雄, 野村崇人, 佐藤達郎¹, 小林誠(帝京大・理工・バイオ, ¹宇都宮大・農・野生植物)
- F204 コウキクサにおける根の可塑的伸長のジベレリン制御
稻田さやか, 新免輝男(姫路工大・理・生命)
- F205 シロイスナズナ花成へのグルタチオンの関与
小川健一, 田坂恭嗣, 三野真布, 田中良和, 岩渕雅樹(岡山県生物科学総合研究所)
- F206 春化処理したトルコギキョウの抽だいにおけるグルタチオンレドックス制御の関与
柳田元繼, 三野真布, 岩渕雅樹, 小川健一(岡山県生物科学総合研究所)
- F207 タバコ細胞核のMAR結合タンパク質の分子構造と機能解析
藤原詩織, 松田奈緒, 深見裕之, 前島正義(名大院・生命農)
- F208 サイトカイニンはキュウリ切除子葉において暗所でもMGDG合成酵素遺伝子の発現, 活性化, プラスチド糖脂質の蓄積を引き起す
山領和紀, 金井大輔, 粟井光一郎, 増田建, 菅田裕士, 高宮建一郎, 太田啓之(東京工業大・院・生命理工)
- F209 cDNAマクロアレイを用いたジャスモン酸応答性遺伝子群の大規模解析: ジャスモン酸生合成に対するポジティブフィードバックと他の植物ホルモンとのクロストーク
佐々木結子, 浅水恵理香¹, 柴田大輔¹, 中村保一¹, 金子貴一¹, 粟井光一郎, 増田建, 菅田裕士, 高宮建一郎, 田畠哲之¹, 太田啓之(東工大・院・生命理工・生体システム, ¹かずさDNA研究所)
- F210 微生物由来エチレン生成酵素遺伝子を導入した形質転換タバコの特性
荒木誠士, 田中正美, 吉田和哉¹, 新名惇彦¹, 松岡正佳², 小川隆平²(熊本県農業研究センター, ¹奈良先端大・バイオ, ²崇城大・応微工)
- F211 トマト生長時のIAA分布とラベルIAAの輸送能力
児島清秀, 大竹綾梨子¹, 馬 螢華(新潟大・自然研, ¹新潟大・農)
- F212 コムギの深播き耐性における第一節間の伸長成長のためのジベレリンとカリウムの作用
陳磊, 東谷篤志, 菅洋, 武田和義¹, 高橋秀幸(東北大・遺生研, ¹岡山大・生物資源研)
- F213 ヒマワリ種子発芽過程における新規アレロバシー物質の消長
大野修二¹, 富田一横谷 香織², 鈴木利貞³, 小瀬村誠治⁴, 安井一臣⁵, 後藤敏男⁵, 山村庄亮⁴, 長谷川宏司²
(¹筑波大・院・バイオシステム, ²筑波大・応生化, ³筑波大・院・農, ⁴慶應大・理工・化, ⁵日本パイエルアグロケム)
- F214 クレス綠化芽生えにおける成長抑制物質の探索
長谷川剛, 山田小須弥¹, 鈴木利貞², 小瀬村誠治³, 山村庄亮³, 宮本健助⁴, 上田純一⁴, 長谷川宏司¹(大阪府大・院・理, ¹筑波大・応生化, ²筑波大・農, ³慶應大・理工・化, ⁴大阪府大・総合科学部)
- F215 トマト搾汁残渣由來の植物成長促進物質
鈴木利貞¹, 富田一横谷 香織², 津布栄洋和³, 吉田滋樹², 日下部功², 山田小須弥², 三木洋一⁴, 長谷川宏司²
(¹筑波大・院・農, ²筑波大・応用生物化学, ³カゴメ(㈱総合研究所, ⁴三木商店)
- F216 Effects of brassinolide on cell division and elongation in epicotyl growth of pea seedlings
Naoya Maeda, Norihito Kuno¹, Takao Yokota², Motohiro Fukami, Masaki Furuya¹ (Grad. Sch. Agr., Utsunomiya Univ., ¹Hitachi Adv. Res. Lab., ²Dept. Biosci., Teikyo Univ.)
- F217 シロイスナズナの芽生えの成長に対するプラシノライドとプラシノステロイド生合成阻害剤ブリシナゾールの影響
田仲 実, 中村考志¹, 浅見忠男², 吉田茂男², 松尾友明, 岡本繁久(鹿大農・生物, ¹京府大・人環, ²理研)
- F218 Gene Chipを用いたプラシノステロイド応答性遺伝子の解析
郷田秀樹, 鷲田幸久, 宮内成真, 関亦克彦¹, 浅見忠男¹, 藤岡昭三, 吉田茂男(理研・植物科学研究センター, 理研・植物機能)
- F219 ヒヤクニチソウ管状要素分化過程でのプラシノステロイド合成関連遺伝子の発現調節
山本 亮, 出村拓¹, 福田裕穂(東大院・理・生物科学, ¹理研・植物科学センター)
- F220 ヤマザクラ種子発芽過程における内生アブシシン酸の動態
丹羽美乃理¹, 謙山奈央子², 信太優子², 中村輝子^{1,2} (¹日本女子大院・理, ²日本女子大・理)
- F221 イネ発芽種子におけるジベレリン合成酵素遺伝子の発現解析
金子美幸, 伊藤博紀, 上口(田中)美弥子, 北野英巳¹, 松岡信(名古屋大・生物分子応答センター, ¹名古屋大・院・生命農学)

- F222 キュウリ・トマト切断胚軸における皮層の組織癒合に対する子葉およびジベレリンの関与
朝比奈雅志¹, 岩井宏暁¹, 川出洋², 山口信次郎², 神谷勇治², 佐藤忍¹ (¹筑波大・生物, ²理研・植物科学)
- F223 ジベレリンA₃のセイヨウハコヤナギの成長に及ぼす影響
伊ヶ崎知弘, 長尾精文, 篠原健司 (農水省・森林総研)
- F224 エチレンによる根の成長制御におけるオーキシン要求性
Abidur Rahman, 尼川大作, 後藤伸治¹, 鶴見誠二² (神戸大・自然科学, ¹宮教大・生物, ²神戸大・RIセンター)
- F225 メロンACC合成酵素遺伝子(CMe-ACS2)のオーキシン誘導シス因子について
坂本木綿子¹, 龍野由美恵¹, 園田雅俊¹, 中川弘毅¹, 平林哲夫³, 佐藤隆英^{1,2} (¹千葉大・園芸, ²千葉大・院・自然科学, ³日本園芸研)
- F226 Bisphenol Aにおけるサイトカイニン様活性の解析
手呂内伸之, 高野邦子¹, 中村百合子¹, 榎本かおり¹, 細谷夏美¹, 西成典子 (大妻女子大・教養・生物, ¹社会情報・環境)
- F227 ニンジン培養細胞の細胞分裂に対するPhytosulfokine (PSK)とオーキシンの相互作用
東克己, 松林嘉克¹, 坂神洋次¹, 鎌田博 (筑波大・生物科学, ¹名古屋大院・生命農学)
- F228 トマト成熟変異体Nr-2のエチレン受容体様遺伝子
今西俊介, 森仁志¹, 永田雅靖 (野菜茶試・生理生態, ¹名古屋大・院・生命農学)
- F229 エンドウ節間表皮組織のプロトプラストに誘導されるABP1を受容体としたIAA依存の膨潤反応
山上睦, 芳賀健, Richard M. Napier², 飯野盛利¹ (環境科学技術研究所, ¹大阪市立大・院理・生物地球, ²Hort. Res. Inst., U.K.)
- F230 シロイスナズナのエチレン過剰合成変異体eto1の分子遺伝学的解析
吉田均, Kevin L.-C. Wang¹, Claire Lurin², Joseph R. Ecker¹ (北海道農試, ¹Salk Institute, ²INRA)

■後半 植物ホルモン・成長調節物質

- S201 イネにおけるアクチベーションタギングシステムの開発:トランスポゾンの利用による変異系統の拡大及び新規変異体の取得
森昌樹, 佐藤浩二, 杉本和彦, 大岡久子, 岡部健, 大林憲吾, 廣近洋彦, 菊池尚志 (農水省・生物研)
- S202 アオウキクサ花成を強く誘導するFIFとノルエピネフリン反応物の構造解明
山口祥子, 横山峰幸, 飯田年以, 岡井美佳¹, 福原忠雄, 吉田誠一, 田中修¹, 瀧本敦² (資生堂・基盤研究センター, ¹甲南大学・理・生物, ²京都生物研)
- S203 シロイスナズナにおけるフロリゲン様物質の動態解析
平岡和久, ¹篠崎眞輝 (京大院・生命科学・統合生命, ¹京大院・農・応用生物)
- S204 ACC合成酵素遺伝子CS-ACS2はキュウリ花芽の離すい原基で発現する
蒲池伸一郎, 安藤杉尋, 水澤秀雅¹, 松浦誠司¹, 酒井慎吾 (筑波大・生物, ¹(株)トーホク)
- S205 エチレンによるキュウリの雌花誘導時に発現が誘導される遺伝子ERAF17の発現の局在解析
安藤杉尋, 佐藤由夏, 酒井慎吾 (筑波大・生物)
- S206 TRAB1を介したABA応答性遺伝子発現制御機構
加賀谷安章, 保浦徳昇¹, 村田道春, 服部束穂 (三重大・遺伝子, ¹理研・植物分子生物)
- S207 ヒメツリガネゴケ完全長cDNAの過剰発現変異体スクリーニングによるオーキシン, サイトカイニン作用機構解明への網羅的研究
藤田知道¹, 関原明², Piero Carninci³, 林崎良英³, 篠崎一雄², 長谷部光泰^{1,4} (¹基生研・種分化2, ²理研・植物分子, ³理研・生体分子機能, ⁴総研大・生命科学)
- S208 ジャスマン酸メチルエステルによる*Bryophyllum calycinum*における二次離層形成誘導
Marian Saniewski¹, 宇都宮真木², 宮本健助², 上田純一² (¹ポーランド国立果樹学・花卉学研究所, ²大阪府立大・総合科学)
- S209 単子葉植物の形態形成とオーキシンの極性輸送
伊藤百代, 松岡信 (名古屋大・生物分子応答研究センター)
- S210 GUS融合遺伝子を用いたオーキシン誘導性遺伝子MSG2/IAA19の発現様式の解析
立松圭, 山本興太郎 (北海道大・地球環境)
- S211 気孔形成に対するオーキシンの作用
藤田美樹, 風間晴子 (国際基督教大学・生物)
- S212 シロイスナズナの温度感受性突然変異体を用いた不定根形成過程の遺伝学的解剖
小西美穂子, 杉山宗隆 (東大院・理・植物園)
- S213 葉の形態異常と植物体の右巻きのねじれを示すシロイスナズナ突然変異体の解析
宮田麻衣子, 山本(豊田)章子, 前田英子, 船口珠紀, 塚谷裕一¹, 服部束穂 (三重大・遺伝子, ¹基生研)
- S214 アラビドプシスの根端優勢を喪失した突然変異体の単離と解析
黒羽剛, 岡田清孝¹, 佐藤忍 (筑波大・生物, ¹京大・院・理・生物)

- S215 ジベレリンによって発現が誘導される *AtGAU2*遺伝子の解析
金田剛史, 白井美和, 柿本辰男¹ (愛媛大・理・生物, ¹大阪大院・理・生物)
- S216 葉の極性伸長を司るチトクロムP450について
金児泰¹, 藤岡昭三², 高津戸秀³, 吉田茂男², 塚谷裕一¹ (¹岡崎国立研究機構・統合バイオ, ²理研・植物機能, ³上越教育大・化学)
- S217 サイトカイニン応答性遺伝子 (*cig*) の機能解析
木村琢磨^{1,2}, 金子委利子^{1,3}, 中野雄司¹, 吉田茂男¹ (¹理研・植物機能, ²埼玉大・理工, ³明治大・農)
- S218 マメ科植物・メスキートの葉のアレロパシー
中野洋, 藤井義晴¹, 山田小須弥², 小瀬村誠治³, 長谷川宏司² (筑波大院・農・応生化, ¹農水省・農環研, ²筑波大・応生化, ³慶應義塾大・理工・化学)
- S219 窓素栄養に応答したサイトカイニン代謝機構の解析
高橋徹, 槇原均¹, 武井兼太郎, 谷口光隆, 杉山達夫 (名古屋大院・生命農学, ¹理研・植物科学研究センター)
- S220 Alaskaエンドウ芽生えの頂芽優勢に関与する成長調節物質
中島江理, 山田小須弥¹, 小瀬村誠治², 山村庄亮², 長谷川宏司¹ (筑波大・院・農, ¹筑波大・応生化, ²慶應大・理工・化)
- S221 ACC合成酵素のリン酸化部位の決定
立木美保, 森仁志 (名古屋大・院・生命農)
- S222 プラシノステロイド欠損非感受性変異体の単離
中野雄司, 永田典子, 嶋田幸久¹, 吉田茂男, 清見忠男 (理研・植物機能, ¹理研・植物科学センター)
- S223 ジベレリン (GA) は、SLRタンパク質を核から消失させることでショート伸長を引き起こす
伊藤博紀, 上口 (田中) 美弥子, 芦薈基行, 松岡信 (名大・生物分子応答研究センター)
- S224 イネのジベレリン非感受性変異体, *GA insensitive dwarf 1*の解析(2)
上口 (田中) 美弥子, 芦薈基行, 小林正智, 北野英巳, 松岡信 (名大・生物分子応答研究センター, 生命農学, ¹理研)
- S225 ダイコン下胚軸の光屈性反応に関与するミロシナーゼ
山田小須弥, 長谷川剛, 富田一横谷 香織, 南栄一¹, 渡谷直人¹, 長谷川宏司 (筑波大・応生化, ¹農水省・生物研)
- S226 ABA生合成に関与するシロイスナズナNCED遺伝子の乾燥ストレス応答における機能解析
井内聖, 小林正智, 篠崎一雄 (理研・植物分子)
- S227 アントシアニン芳香族アシル基転移酵素の活性中心に関わるアミノ酸残基の同定
奥原宏明, 槇原 (米倉) 圭子¹, 田中良和¹, 久住高章¹, 長谷俊治 (阪大蛋白研, ¹サントリー・基礎研)
- S228 プラシノステロイド生合成の初期過程に関する研究
中嶋直子¹, 藤岡昭三¹, 田中孝志², 高津戸秀², 吉田茂男¹ (¹理研・植物科学研究センター, ²上越教育大・化学)
- S229 シロイスナズナのイソペンテニルトランスフェラーゼ遺伝子の単離
武井兼太郎, 槇原均¹, 杉山達夫 (名古屋大院・生命農学, ¹理研・植物科学センター)
- S230 シロイスナズナスペルミジン合成酵素遺伝子ファミリーの機能解析
Yoshie Hanzawa^{1,2}, Akihiro Imai¹, Taku Takahashi¹, Marina Franceschetti², Anthony J. Michael², Yoshibumi Komeda¹ (¹Div. Biological Sci., Hokkaido Univ., ²Institute of Food Research, UK)